

そうそう農林 NEWS No. 8

令和6年2月 福島県相双農林事務所



大規模牧場で育つ乳牛（葛尾村）

「味菜ひろばよりみち」が豊かな村づくり顕彰を受賞しました！

第42回「豊かなむらづくり顕彰事業」において、「味菜ひろばよりみち」（新地町）がむらづくり部門を受賞し、令和6年2月1日（木）、福島テルサ（福島市）にて表彰式が執り行われました。当所では、引き続き、魅力ある農山漁村の形成に向けて支援を続けてまいります。

内堀（左から）よりみち星さん、中川よりみち代表取締役、



豊かなむらづくり顕彰事業

魅力ある農山漁村づくりや農業振興で顕著な業績のあった団体をたたえる事業。

県、福島民友新聞社主催のもと、昭和56年度から実施。（※平成23年度は東日本大震災のため休止）

●むらづくり部門●

農林水産業を核として、生活環境改善・文化継承等を含む幅広い活動を展開し、地域の活性化に貢献している

●農業生産部門●

農業生産の中心的な役割を担い、生産性の向上、産地の形成、担い手の育成等により、農業の維持・発展に寄与し、地域の活性化に貢献している

味菜ひろばよりみち

●農産物直売所（平成27年設立）

■会 員：約70名

- ・JAそうま（現：JAふくしま未来）新地支部の女性部『味菜くらぶ』の有志
- ・町内の農家

■取 組

- ・新地町特産であるニラやいちじくを使用した6次化商品の開発・製造
- ・町内産農産物や生活用品の販売

☆販売商品☆

- ・イチジク入り「味菜たれ」
- ・イチジクの「パウンドケーキ」
- ・「ニラ入り豚まん」
- ・日替わり弁当 など

■受賞理由

- ・東日本大震災の影響で人口が減少し、地域のつながりが希薄になったことから、町内産農産物を扱う直売所を開設し、地域の活性化を図ったこと。
- ・積極的な6次化商品の開発などで町の農業復興のけん引役となったこと。
- ・地域の小売店として誰もが気兼ねなく利用できる店づくりを展開し、高齢者の安全安心な日常生活を支え、住みやすい環境づくりに貢献していること。

■代表挨拶

林代表「このような賞をいただけてありがとうございます。」

[企画部]

松本敏美さん（葛尾村）が旭日単光章を受章されました！

令和5年秋の叙勲が令和5年11月3日（金）付けで発令され、葛尾村農業委員会会長の松本敏美さんが旭日単光章を受章されました。

伝達式は、12月18日（月）に葛尾村役場で行われ、当所小久保所長から松本敏美さんに勲記と勲章が伝達されました。

松本敏美さんは、平成8年から同村農業委員を務められ、平成20年からは農業委員会会長に就任、その他各団体の要職を歴任し、同村の農業の振興と担い手育成に向け多大な貢献をされてこられました。

今後也更なるご活躍をご期待申し上げます。 [企画部]



右：篠木村長
中央：松本敏美会長
左：小久保所長

パックご飯工場で復興を後押し！

相馬屋パックご飯工場



生産されるパックご飯

楯葉町にある「相馬屋パックご飯工場」は、いわき市小名浜で米の卸・小売り等を展開されている「(株)相馬屋」が、相双地方の復興の後押しを目的に「福島県高付加価値産地展開支援事業」(復興事業)を活用し、令和5年11月に竣工した工場です。パックご飯は、米の消費量が減少する中であっても、その手軽さから需要が増加しており、また、備蓄食品としても活用されている時代のニーズに合った食品です。

本工場では、同事業で整備された「そうま日立木カントリーエレベーター(JAふくしま未来)」で乾燥・調製された「天のつぶ」などをはじめ、主に相双地方で生産されたお米を使用し、年間約2,207万食のパックご飯を生産します。全国のスーパーやドラッグストア、県内においては、小名浜にある(株)相馬屋本社、いわき市内のスーパーなどで販売され、また、相馬屋オンラインストアでも注文できます。将来的には、相双地方の米を使用したパックご飯をふるさと納税返礼品とすることやアメリカへの輸出も計画されています。

画されています。

本工場が相双地方で生産される米の安定した販売先となることで、農業者の生産意欲向上につながり、相双地方の復興・創生に資することが期待されます。

[農業振興普及部]



被災12市町村の米を使った「ふくふくごはん®」

県内産などの国産米を使った「おいしいご飯炊きあがりました」



大規模な「畑地化」の取組を進めています！

復興基盤総合整備事業 小屋木地区（南相馬市小高区）では、将来の地域営農を見据えて4者の担い手に農地を集約する計画としています。中でも、中心的な担い手である「(有) I LOVE ファームおだか」では100haを超えるブロッコリーの大規模栽培を目指しており、小屋木地区においては、生産拠点として、30.5ha（小屋木地区受益面積の約5割）の畑団地に作付けする計画です。農地整備では、水田を畑作にも活用できる汎用水田の整備を標準としていますが、排水性が低いため、湿害を生じやすいブロッコリーには適しません。そのため、水田を傾斜畑として整備する「畑地化」を行うこととし、併せて、作業効率を高めるため、大規模栽培に適した農地に整備することとしました。

このような大規模な畑地化整備は県内では初めてであり、全国的にも希な取組であることから、畑作が盛んな北海道や北関東において地元役員や土地改良区も同行した研修や土層調査を行い、知見を組み合わせて検討を進めています。

また、整備後の換地処分では水田から畑への地目変更を伴うため、地元施工委員会が中心となり、関係地権者へ説明を重ねて同意を得るなど、地区全体で役割を分担して取り組んでいます。

今後も小屋木地区の将来を見据えた営農計画の実現に向け、課題を一つずつ解決しながら、令和9年度の整備完了を目指し、県内初となる取組を着実に進めてまいります。

[農村整備部]



生育調査

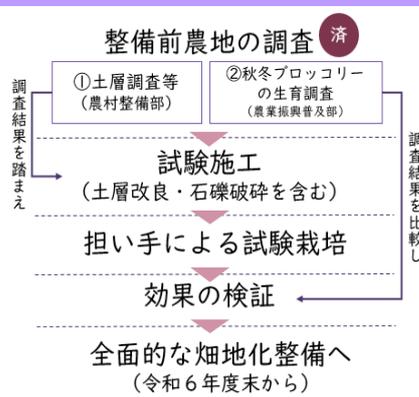


北海道むかわ町での
作土厚調査



施工委員会での
施行方法等の検討

今後の畑地化整備の流れ



多面的機能支払交付金の研修会を開催しました！

令和5年11月30日（金）、原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」にて令和5年度多面的機能支払交付金 相双方部研修会を開催し、各関係組織の代表と市町村担当者の205名が参加しました。

本研修会では、地域の共同活動で役立つ知識の習得と適切な会計処理を目的として、東北農政局より「用排水路の機能診断・補修技術について」、農業総合センター農業短期大学より「刈り払い機や農業用トラクターなどの安全使用について」、

多面的機能支払交付金

地域住民を含む組織が取り組む、地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る活動を支援する事業。
 (例) 水路の泥上げ
 水路・農道の軽微な補修 等

福島県多面的機能支払推進協議会より「多面的機能支払交付金の事務管理等について」講演いただきました。

相双地方の令和5年度の取組組織数は震災前より増加しており、令和6年度からは飯舘村において

広域化組織の設立を予定しています。

今後も多くの構成員の皆様とともに地域資源の維持、質的向上を図ってまいります。

[農村整備部]



研修会の様子



農業短期大学の講演

フレッシュ農業講座を開催しました！

令和5年12月13日(水)、福島県立ふたば未来学園高等学校の生徒を対象にフレッシュ農業講座を開催しました。本講座は、高校生が地域の農業の魅力を感じ、就農へのきっかけとするために毎年開催しており、令和5年はトマトの施設栽培を行っている(株)ナラハプラントファクトリー(楡葉町)を、農業科生徒9名が見学しました。青木代表取締役が最新式の環境制御システムを導入したトマトの養液栽培施設や選果施設を案内していただきました。参加した生徒は、設備や栽培管理、出荷・販売、経営で苦労した点など、様々な視点から質問しており、関心の高さが窺えました。講座終了後のアンケートでは「施設の規模に驚いた。」「最新の設備でどのように栽培している

のかわかり、良い経験となった。」などといった感想をいただきました。

今後も、優れた農業者の紹介などを通じ、双葉地方の農業を担う人材の育成に取り組んでまいります。

[双葉農業普及所]



説明をする青木代表(手前)と熱心に話を聞く高校生
左：養液栽培されたトマトの説明 右：選果設備の説明



J Aふくしま未来そうま地区稲作振興大会が開催されました！

令和6年1月18日(木)、鹿島農村環境改善センター(南相馬市)において、J Aふくしま未来そうま地区稲作振興大会が開催され、各地区のJ A稲作部会員やJ A役員・委員、市町村職員など約150名が参加しました。

会では、J Aふくしま未来より、主食用米の価格維持に向



稲作振興大会の様子

けた販売や水田を有効活用しながら農家手取りを確保する方針が提案されました。当所農業振興普及部からは、JAふくしま未来とともに行ったデータ収集及び解析に基づき、「相馬地方における水稲の品質低下の原因と対策」について報告を行いました。令和5年産米で課題となった1等米比率の低下の主な原因は、出穂期～登熟期の高温・降水量不足による白未熟粒やカメムシ被害粒の発生が大きかったこと、併せて地力の低下が高温や降水量不足の影響を助長していること等です。

当所では、報告した次年度の対策を踏まえ稲作のより一層の振興に努めてまいります。

[農業振興普及部]

1等米生産における次年度対策

- ①高温回避（遅植え、直播による作期調整）
- ②天のつぶに偏った品種構成の見直し
- ③地力向上（土壌診断とほ場条件に応じた適正な施肥、土壌改良材、堆肥施用）
- ④カメムシ防除の徹底
- ⑤気象変動に応じた基本技術の徹底（集落における水管理、協力体制の整備など）

先山ゼロ災推進安全巡回指導を実施しました！

当所では、林材業労災防止協会福島県支部とともに、林業事業者や木材加工事業者を対象に、先山ゼロ災推進安全巡回指導を毎年実施しています。

令和5年度は、9月から11月にかけて、林材業労災防止協会福島県支部の安全衛生指導員とともに、6社の事業者の現場に伺い、巡回指導を実施しました。巡回指導では、労災発生件数の多いチェーンソーを用いた伐木作業に重点を置き、作業前の周囲の安全確認状況や、チェーンソー操作手順の確認を行いました。安全衛生指導員からは、近年、災害件数が増加している転倒災害への注意喚起や令和4年度の事事例について説明がありました。



巡回指導の様子

林業は、重量のある立木を扱うこと、山林奥地での作業となる場合があることなどから、従事者数に対する労災発生件数の割合が全国的に高い業種となっており、普段から安全を心がけた作業を行うことが重要です。林内での作業や、立木の伐倒・手入れを行う際は、適切な安全対策の実施をお願いします。

当所では、作業者の安全意識向上に向けて、今後とも林業労働安全に関する取組を行ってまいります。

[富岡林業指導所]

第2回相双農林事務所管内農業委員会研修会を開催しました！

令和5年12月5日（火）、管内農業委員会会長、農地利用最適化推進委員及び事務局員を対象に第2回研修会を開催しました。

本研修会では、農業委員会とともに今年度初めて実施した営農型発電施設に係る現地調査結果、事業者への指導内容と改善状況及び同事業における農地転用審査の留意点について説明しました。また、福島県農業会議と葛尾村農業委員会から、農地活用と就



研修会の様子



農者確保について活動事例を紹介いただきました。

本研修が業務の参考となり、農地活用の適正化につながることを期待しております。

営農型発電の現地調査の取組による不適切な管理の改善

[企画部]

林道の災害査定が実施され、早期復旧に努めています！

令和5年9月8日（金）から9日（土）にかけて発生した台風13号による林道災害について、相双地方では2市3町1村で188箇所の被害を受け、被害額は169,184千円となりました。多くの路線で路面洗掘により通行が困難となったほか、一部の路線では路肩決壊や法面崩落により通行が出来なくなりました。

森林林業部では、被災した自治体と連携して迅速な被害の把握に努め、災害復旧事業の該当箇所（1市2町8路線10箇所）について、令和5年11月29日（水）から12月1日（金）にかけて災害査定が実施されました。現在は、各自治体により早期復旧が進められています。

[森林林業部]



（浪江町大字立野）
林道春卯野線



（南相馬市鹿島区）
林道カベス線

水稲と園芸の複合大規模経営の実証が進んでいます！

これまで、双葉地方では水稲を中心に営農が再開されてきましたが、新たな産地化を目指し、園芸品目の作付拡大を推進しています。令和5年度からスマート農業技術を活用した大規模機械化体系の実証を、行政やJA、メーカーなどで構成されるコンソーシアムにおいて取り組み、「水稲+園芸の大規模複合経営」モデルの構築を進めています。

今年度はブロッコリーの直播栽培や機械化収穫体系の確立に向けた実証に取り組みました。夏場の酷暑と乾燥等による発芽不良が見られ、また、品質面の課題は残りましたが、11月から1月にかけて収穫となり、作業時間の短縮について確認することができました。

当所では、今年度の実証結果をいかし、より省力的な作業体系の構築に向けた支援に取り組んでまいります。



ブロッコリー直播機械による播種作業



専用機械による収穫作業

[双葉農業普及所]

農業を将来の仕事に！ 高校生を対象にした農業法人等への就職相談会を初開催！

令和5年12月3日（日）、南相馬市の原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」にて、農業に興味を持つ相双地方の高校生を対象に農業法人等への就職相談会を開催しました。本相談会は、農業の魅力や相双地方の農業者の復興に向けた意欲を知ってもらうことで、新たな担い手の確保につなげることを目的としています。参加した高校生18名は、農業を仕事にするとはいか、地域の農業に対してどのような思いがあるのかなどについて、相双地方の農業法人等10組織の代表者や社員の方々と直接話し、農業への理解を深めたようでした。

また、高校卒業後に農業法人へ就職した先輩就農者と農業法人代表者に農業法人で働くことの魅力などをトークショーで語っていただき、参加者は就農をより身近に感じた様子でした。

参加者からは、「いろいろな農業法人のお話を聞くことができ、よい勉強になりました。」「またこのようなイベントを開催してほしいです。」などの感想が寄せられました。

引き続き、新たな担い手の確保に向けて、就農相談会の開催や様々な情報発信に努めてまいります。

[農業振興普及部]



トークショー



相談する高校生

里山再生事業について紹介します！



立入が制限されている里山

住民が身近に利用してきた住居周辺の里山のうち、原発事故による放射性物質の影響により利用に支障がある森林公園や遊歩道、キャンプ場などにおいて、住民が安心して利用できる環境をつくるため、「里山再生事業」を推進しています。

本事業では、「除染」、「森林整備」、「線量測定」の3つのメニューのうち、2つから3つを組み合わせ、事業を実施します。相双地方では、これまでに5町村11箇所が選定され、事業が行われています。

今後も国や市町村と連携を図りながら、相双地方の里山の再生に取り組んでまいります。

[富岡林業指導所]

里山再生事業のメニュー

- 除 染…人が日常的に立ち入る場所で、堆積物や残渣の除去等
- 森林整備…間伐などの森林整備と丸太筋工の設置等の放射性物質対策
- 線量測定…住民の利用形態を想定した遊歩道等の空間線量率の測定や個人被ばく線量の測定等

飯舘村森林組合における森林経営計画策定の取組

森林経営計画

森林所有者等が、自らが森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林を対象に作成する5年間の計画。

計画に基づいた効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させることが目的。計画を作成すると、所得税の一部控除や造林補助金の増額など各種優遇措置を受けることができる。

バイオマス発電
建設中の
施設（飯舘村）



飯舘村の
森林経営計画対象
の森林整備箇所



第3回
林業教室



飯舘村森林組合が令和5年5～6月に策定した森林経営計画の取組について紹介します。

飯舘村では、東日本大震災以降、林内作業の停滞等により森林経営計画の策定が困難な状況となっていました。令和6年度から木質バイオマス発電施設が稼働することとなり、木材需要の増大が見込まれたため、当組合が森林所有者より森林の経営委託を受けた、約320haの森林経営計画の策定に取り組むこととしました。

当所においては、当組合より相談を受け、森林経営計画作成等について助言し、円滑な計画策定を支援しました。

当組合が森林経営計画区域から生産した木材をバイオマス発電施設に納入する場合には、再生可能エネルギー固定価格買取制度により優遇された価格での木材の取引が期待されます。また、森林経営計画区域内で、ふくしま森林再生事業や広葉樹林再生事業で更新伐を行ったエリアにおいて、萌芽整理などの施業を行う際には、造林補助金が優遇されることとなります。

当所では、森林経営計画の策定を推進するため、令和6年1月26日（金）の第3回林業教室において、市町村及び森林組合の担当者を対象に制度の概要や森林整備に果たす役割等を説明しました。

今後も森林経営計画の策定を進める事業者の支援などを通して、森林整備を推進してまいります。

[森林林業部]

若手職員研修を実施しました！

令和5年11月14日（火）、管内における農林業の現状及び相双地方の復興に向けた課題について理解を深め、円滑な業務遂行に役立つことを目的に若手職員研修を実施しました。

海岸保全施設整備事業の実施箇所（浪江町）、（株）牛屋（葛尾村）の牛舎、福島高度集成材製造センター（浪江町）及び浅野燃糸（株）（双葉町）の燃糸工場において、それぞれ当所担当職員や生産者から事業の目的や取組の概要等について説明を受けました。

（株）牛屋では、事業拡大に向けた独自の工夫や和牛生産業復興への展望について、浅野燃糸（株）では、双葉町で燃糸の生産をスタートさせるまでの経緯や自社ブランド品の特色についてお話を伺

いました。

当所においては、参加職員の「農林業に携わる方々のため、責任感を持って日々の業務に取り組む」、「様々な分野の取組について知ることができて良い刺激になった。」といった研修成果を業務にいかし、相双地方の農林業の発展に尽力してまいります。 [総務部]



(株) 牛屋



福島高度集成材製造センター



浅野撚糸 (株)

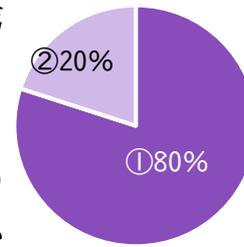
そうそう6次化ネットワーク交流会・「そうそう・6次化ラボ」研修会を開催しました！

令和6年1月29日(月)、道の駅なみえにて、令和5年度第1回そうそう6次化ネットワーク交流会及び令和5年度「そうそう・6次化ラボ」研修会を開催しました。

本会では、相双地方で生産が拡大している甘藷(さつまいも)に焦点を当て、甘藷の6次化実践者による講演と、甘藷を用いて「そうそう・6次化ラボ」※の一部を体験してもらい加工実習を行いました。また、「ふくしま満天堂」プレミアム2022商品3品を試食してもらい、優れた6次化商品に対する知見も広めていただきました。参加者は、それぞれの活動について情報交換するとともに、加工機器などを熱心に確認していました。

当所では、引き続き、事業者の交流機会創出や事業者の知識や技術の習得を支援してまいります。

※「そうそう・6次化ラボ」…当所で実施している、地域の6次化を牽引する人材を育成する事業。6次化に必要な知識や技術を学ぶための加工実習等を行う。



満足度調査結果

- ①満足……80%
- ②やや満足……20%
- ③普通……0%
- ④やや不満……0%
- ⑤不満……0%

会の内容

- 講演
「農と人が輝く さつまいも経営戦略」
講師：(株) 農プロデュース リッツ
代表取締役 新谷 梨恵子 氏
- 加工体験
使用農産物：さつまいも
講師：一般社団法人 F's Kitchen
代表理事 萩 春朋 氏
- 「ふくしま満天堂」プレミアム商品試食
 - ・タコシウマイ(プレミアム、新地町)
 - ・クリームチーズのトリュフみそ漬け(プレミアム、南相馬市)
 - ・とまと味噌(グランプリ・デザイン賞、いわき市)



話し合う参加者



加工機器の使い方の説明

ふくしま満天堂事業

県内外の様々な場所でテスト販売を行い、広域流通に向けた実績づくり、商品改善点の把握、改良等を支援する事業。

年に一度開催される「ふくしま満天堂グランプリ」では、県内外のバイヤーの審査によって、事業で取り扱っている商品のうち、10商品がプレミアムに選ばれる。また、その中から、県内の有識者、メディア、商品販売店によってグランプリ、準グランプリ、デザイン賞が選ばれる。

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しました！

当所では、地産地消を促進し、風評払拭を図るため、県産農林水産物のおいしさや魅力を発信する「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しています。

11月と12月に行ったキャンペーンでは、パネルを用いた相双地方の営農の取組・GAP[※]等の紹介や、農産物と加工品の販売などを行い、また、キャンペーン内容に関するアンケートに回答いただいた参加者に相双地方産農産物をプレゼントしました。アンケートでは「色々な面で努力し、おいしい農産物作っているんだなと思った。」「GAP について勉強になった!」、「高校生の方々応援しています。若いパワーをいただきました。」などの感想が寄せられました。

皆様からいただいた意見をいかし、引き続き、地産地消に向けた取組を推進してまいります。
 ※GAP (Good Agricultural Practice) …持続的な農業を行うために「食品安全」、「環境保全」、「労働安全」などの観点から、農業生産工程に潜むリスクを管理する取組のこと。

第3回キャンペーン

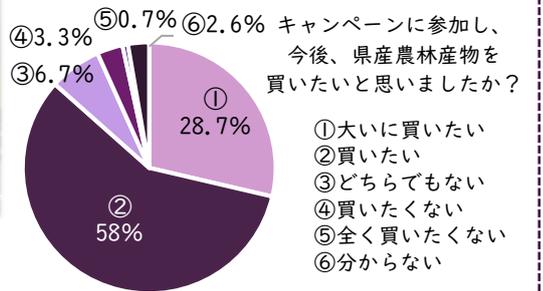
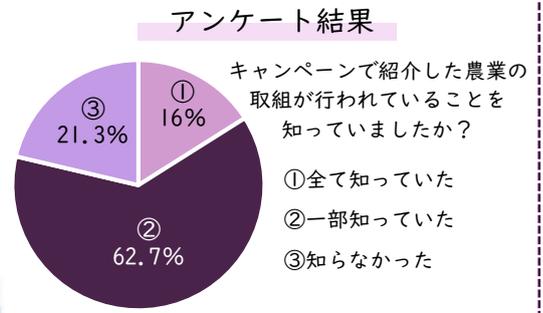
- 実施日：令和5年11月3日（金・祝）
- 実施場所：南相馬ジャスマール
- 実施内容：県産農産物の安全性PR
相馬地方の新たな営農の取組や魅力の紹介
- 参加人数：150人
- 配布農産物：キュウリ（南相馬市産）、ネギ（相馬市産）
ブロッコリー（南相馬市産）



展示内容の説明



盛況となったイベントブース



第4回キャンペーン

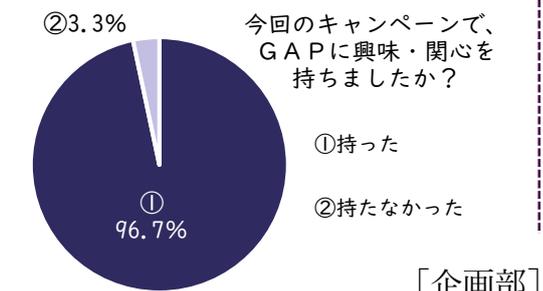
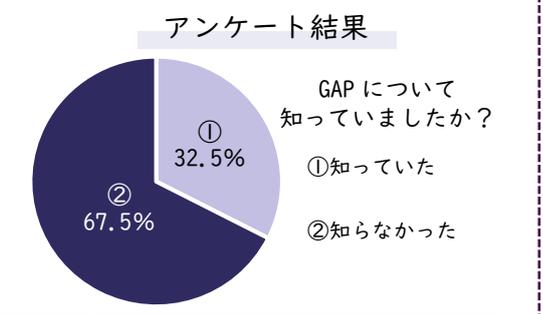
- 実施日：令和5年12月16日（土）
- 実施場所：道の駅なみえ
- 実施内容：相馬農業高校生による農産物や加工品の販売
GAPや県内のGAPの取組のPR
- 参加人数：123人
- 配布農産物：お米（浪江町産）、トマト（檜葉町産）
ブロッコリー（南相馬市産）



相馬農業高校の販売会



GAPに関するクイズ出題



[企画部]

お知らせ

●農作物の出荷制限について●

福島第一原子力発電所事故の影響で農林水産物の摂取・出荷制限指示が出されています。摂取や出荷に当たっては、『摂取や出荷等を差し控えるよう要請している福島県産の食品について(ふくしま復興ステーションHP内 <https://www.new-fukushima.jp/storage/pdf/subject.pdf>)』にて、**摂取・出荷制限指示の有無の確認**をお願いいたします。農作物の出荷制限についてのお問い合わせは、下記まで御連絡ください。

【相馬地方】※¹→農業振興普及部 経営支援課 ☎ 0244-26-1151

【双葉地方】※²→双葉農業普及所 経営支援課 ☎ 0240-23-6474

※1 相馬市、南相馬市、新地町、飯舘村 ※2 広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村

●農林水産部公式 YouTube チャンネル●

福島県農林水産部では、特色ある「福島ならではの」農林水産物や取組等について情報を発信しています。その一環として、「福島県農林水産部公式 YouTube チャンネル」を開設し、『1400のネタばらし』と題して、農林水産部職員が企画・制作した動画を投稿しております。今年度、当所作成の動画も3本(R6.2.28時点)公開されておりますので、ぜひ御覧ください！

チャンネルは
こちらから →



— 相双農林事務所の最新動画 —



よみがえった幻のもち米 飯舘村産「あぶくまもち」

現在、飯舘村のみで作付されているもち米「あぶくまもち」について、紹介しています。



今明かされる?! 用水パイプライン

用水パイプライン設備の具体的な効果や目的について、実際に操作を行いながら紹介しています。



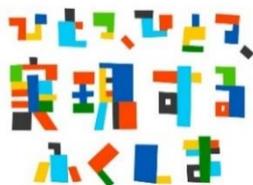
バスツアー、開催しました(その3)

楡葉町にて、相双地方の小学生とその保護者を対象に実施した農林水産業見学体験バスツアーの様子を紹介しています。

3月初旬は...

七十二候『草木萌動』(第六候)

草木が芽吹きはじめ、春の訪れを感じられる季節です。農業においては、様々な農産物の種まきが始まります。相双地方で生産が盛んなブロッコリーの種まきも3月頃に行われます。身近な農産物の生長に目を向けてみてはいかがでしょうか。



福島県相双農林事務所

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地

Tel : 0244-26-1153 Fax : 0244-26-1181

E-mail : kikaku.af06@pref.fukushima.lg.jp

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36260a/>

